

JIS

耐熱鋼及び耐熱合金鑄造品

JIS G 5122 : 2003

(JSCFA/JSA)

(2008 確認)

平成 15 年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木原 諄 二	日本大学
(委員)	大河内 春 乃	東京理科大学
	大橋 守	新日本製鐵株式会社
	岡 實	財団法人日本海事協会
	加藤 碩	ステンレス協会
	國府 勝 郎	東京都立大学
	佐久間 健 人	東京大学
	三宮 好 史	社団法人日本鉄鋼連盟
	中島 將 文	社団法人日本鉄道施設協会
	長瀬 忍	高圧ガス保安協会
	福永 規	住友金属工業株式会社
	松田 邦 男	JFE スチール株式会社
	山内 学	株式会社神戸製鋼所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 31.5.25 改正：平成 15.6.20

官 報 公 示：平成 15.6.20

原 案 作 成 者：日本鑄鍛鋼会

(〒101-0047 東京都千代田区内神田 1 丁目 14-4 四国ビル別館 TEL 03-5283-1611)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本鑄鍛鋼会 (JSCFA)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS G 5122 : 1991** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 11973 : 1999** (Heat-resistant cast steels and alloys for general applications) を基礎として用いた。

JIS G 5122 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 一般納入条件	2
4. 種類の記号	2
5. 化学成分	2
6. 機械的性質	6
7. 透磁率	6
8. 形状及び寸法	6
9. 外観	6
10. 健全性	6
11. 製造	6
11.1 製造方法の一般事項	6
11.2 熱処理	6
12. 試験	6
12.1 試験場所	6
12.2 分析試験	6
12.3 機械試験	6
12.4 透磁率測定試験	8
12.5 形状及び寸法の測定	8
12.6 外観試験	8
12.7 非破壊試験	8
13. 再試験	8
14. 検査	8
15. 表示	8
16. 報告	8
17. 追加要求事項	8
附属書（参考） JIS と対応する国際規格との対比表	9
解 説	15

耐熱鋼及び耐熱合金鑄造品

Heat-resistant cast steels and alloys for general applications

序文 この規格は、1999年に第1版として発行された ISO 11973, Heat-resistant cast steels and alloys for general applications を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表を、その説明を付けて附属書に示す。

1. 適用範囲 この規格は、耐熱鋼及び耐熱合金鑄造品（遠心力鑄造管を含む。以下、鑄造品という。）について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 11973 : 1999, Heat-resistant cast steels and alloys for general applications (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 0307 鑄鋼品の製造、試験及び検査の通則

備考 ISO 4990 : 1986, Steel castings—General technical delivery requirements からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS G 0567 鉄鋼材料及び耐熱合金の高温引張試験方法

JIS G 1211 鉄及び鋼—炭素定量方法

JIS G 1212 鉄及び鋼—けい素定量方法

JIS G 1213 鉄及び鋼—マンガン定量方法

JIS G 1214 鉄及び鋼—りん定量方法

JIS G 1215 鉄及び鋼—硫黄定量方法

JIS G 1216 鉄及び鋼—ニッケル定量方法

JIS G 1217 鉄及び鋼中のクロム定量方法

JIS G 1218 鉄及び鋼—モリブデン定量方法

JIS G 1220 鉄及び鋼—タングステン定量方法

JIS G 1222 鉄及び鋼—コバルト定量方法

JIS G 1228 鉄及び鋼—窒素定量方法

JIS G 1237 鉄及び鋼—ニオブ定量方法

JIS G 1238 鉄及び鋼—クロムの定量方法—電位差又は目視滴定法